

べっぴ

市議会だより

第5号

平成4年11月1日発行

編集 別府市議会だより
編集委員会

発行 別府市議会事務局
☎ 21-1111 内線 253



好天に恵まれた
秋の運動会



副議長
江藤 勝彦



議長
河野 数則

就任御挨拶

九月定例市議会において、多数の御推挙をいただき、市議会議長及び副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄に存じますと共に、議会の代表者として、その職責と使命の重さを痛感しております。本市は今、「地球にやさしい別府」をキャッチフレーズに美しい自然景観を生かした街づくりに取り組んでおります。

また、コンベンションセンターの着工や温泉総合整備事業など数々の大型事業の計画や実施など二十一世紀に向けての諸施策が着々と進められています。

そうした中で、私共市議会の果たすべき役割はますます重大であり、市民の皆様の声を市政に反映すべく、一つ一つを慎重に審議、決定してまいります。

今後とも市政に対しまして、一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

“温泉総合整備事業関係予算”可決

一般会計補正予算……7億8,583万7千円
温泉事業特別会計補正予算………3,612万6千円

九月定例議会

(九月十一日)
(九月二十八日)

▼・・・平成四年九月定例会は、九月十一日から二十八日までの十八日間の日程で開かれました。

この定例議会では、一般会計七億八千五百八十三万七千円、七特別会計で五十四億九千八百八十二万四千円の補正予算案件や、条例案件など二十九件、人事案件二件、議員提出議案八件、継続審査案件一件のあわせて四十議案を審議し、継続審査二件、議員提出議案一件否決のほか、いずれも原案通り可決・認定されました。・・・▲

本会議から

◆九月十一日の本会議では、市長から、予算案件、そして、本年十二月に開通予定の九州横断自動車道の別府・大分間開通記念事業費、コンベンションビュ

ロー運営のための設立出金、別府湾サービスエリア東側にイベント広場を整備するための事業費、中央公民館駐車場整備拡張工事費、さらに、温泉施設を総合的に見直し再構築することにより、適正温度による安定供給等を目的とした温泉整備事業費など。条例案件として行政運営の向上を図ることを目的とした行政改革推進審議会条例の制定。契約案件として、清掃業務課庁舎を冷川焼却場跡地に

新築工事するための請負契約の締結について等の提案理由の説明がありました。

◆九月十四日の本会議では、九人の議員が議案質疑を行い、質



9月定例会議

疑終了後、各議案を所管の常任委員会に付託しました。

◆九月十六日から十八日までの本会議では、二十一人の議員が一般質問を行いました。

◆九月二十八日の本会議には、各常任委員長から各議案の審査結果が報告され、討論の後、採決の結果、行政改革推進審議会条例の制定についての案件（継続審査に）以外は原案のとおり決まりました。

次に人事案件、二件が追加提案され原案のとおり決まりました。

次に報告案件五件の報告がなされました。

次に伊藤敏幸議長・宮本博英副議長から辞職願が提出され、それに伴う議長選挙を投票で行い、その結果、新しく河野数則議長・江藤勝彦副議長が選出されました。

最後に議員提出議案八件が提案され、そのうち七件が原案のとおり決まりました。



主な議決内容

◆補正予算

- ◎平成4年度別府市一般会計補正予算（第2号）〔原案可決〕
- ◎平成4年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）〔原案可決〕
- ◎平成4年度別府市と畜場事業特別会計補正予算（第1号）〔原案可決〕
- ◎平成4年度別府市競輪事業特別会計補正予算（第1号）〔原案可決〕
- ◎平成4年度別府市交通災害共済事業特別会計補正予算（第1号）〔原案可決〕
- ◎平成4年度別府市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）〔原案可決〕
- ◎平成4年度別府市老人保健特別会計補正予算（第1号）〔原案可決〕
- ◎平成4年度別府市温泉事業特別会計補正予算（第1号）〔原案可決〕

◆条例の制定及び一部改正

- ◎別府市行政改革推進審議会条例の制定について〔継続審査〕

◎特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
〔継続審査〕

◎恩給等の年額の改定に関する条例の一部改正について
〔原案可決〕

◎別府市税条例の一部改正について
〔原案可決〕

◎別府市使用料の徴収に関する条例の一部改正について
〔原案可決〕

◎別府市手数料条例の一部改正について
〔原案可決〕

◎別府市営体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
〔原案可決〕

◎別府市防火基金条例の制定について〔継続審査分〕
〔原案可決〕

の報告がなされました。

◆その他

◎あらたに生じた土地の確認について（他五件）〔原案可決〕

◎平成3年度別府市水道事業利益剰余金の処分について
〔原案可決〕

◆決算

◎平成3年度別府市水道事業会計決算の認定について

〔認定〕
◎平成3年度別府市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について
〔継続審査〕

※決算特別委員会の委員の構成は次の通りです。

委員長	白石 昇
副委員長	佐藤 博章
委員	行部 弘文
菅 元生	
富田 公人	
岡本 義美	
中村 正三	
原 克実	
加藤 義則	
泉 武弘	
首藤 正	

◆人事案件

◎別府市固定資産評価審査委員会委員の選任につき市議会の同意を求めることについて（二件）
〔同意〕

固定資産評価審査委員
藏 前 和 己氏
徳 田 靖 之氏

◆報告案件

市長専決処分について他四件

議員提出議案

議員より議案八件が提案され、次のとおり採決されました。

▼第3次急傾斜地崩壊対策事業5箇年計画に関する意見書
〔原案可決〕

▼第11次道路整備5箇年計画の策定に関する意見書
〔原案可決〕

▼地方分権推進法の制定を求める意見書
〔原案可決〕

▼障害者の参政権保障を求める意見書
〔原案可決〕

▼「学校5日制」実施にともなう条件整備等に関する意見書
〔原案可決〕

▼「PKO法を発動し、自衛隊を海外に派遣することのないよう」求める意見書〔原案否決〕

▼義務教育費国庫負担制度の見直しに反対し、学校事務職員・栄養職員の人件費半額国庫負担制度の堅持を求める意見書
〔原案可決〕

▼別府市職員定数条例等の一部を改正する条例の制定について
〔原案可決〕

議案質疑

温泉総合整備事業の目的と余剰温泉の活用方法は

問 温泉総合整備事業の目的と計画を聞きたい。

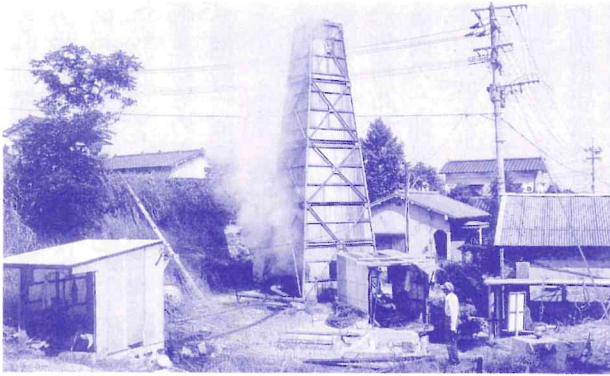
答 この事業は、既存の温泉施設を総合的に見直し、再構築することによって温泉資源の有効利用と資源確保を図ることが目的。計画では、市内温泉施設を南部、堀田、鉄輪、浜田ルートの四ブロックに分けて整備を考えている。そして全施設の温泉造成量、温度、供給量などの情報をN T T回線を通じ、コンピュータによる一括管理を行うものである。今回の二千九百五十万円の予算は南部ルートの実施設設計委託料である。平成七年まで全ルートの実施設設計を終了し、並行しながら工事関係を平成五年度から八年度まで行う予定である。

問 余剰温泉の市民的、観光的活用方法について聞きたい。

答 余剰温泉は、観光、産業、医療、地域福祉等に高度利用を

図りたい。特にシンボルのスポット、別府駅やコンベンションセンター等、観光客誘致もターゲットにしながら施設整備を考えたい。

問 大型温泉事業の財政面について聞きたい。二十五億の事業費に事務費等を合わせると三十億に及ぶと思われる。今年度から市民ホールの建設等大型事業がメジロ押しであるが、事業費



別府市有堀田泉源

の総額と起債の総額を聞きたい。

答 市民ホール建設事業、堀田温泉建設事業、竹工芸伝統産業会館建設、温泉プール改修、それに大型温泉事業等があるが、事業費総額九十六億余、起債総額七十億余である。

問 九十六億の事業費の捻出は、市本来の固有事務の財源に影響が出る恐れがある。中・長期のしっかりした財政計画を要望する。

行政改革推進審議会設置条例の制定について

問 行政改革推進審議会設置条例の提案は、さきの行財政健全化計画が本年度が最終年度であったため、新たに市民ニーズにあった行政を行うため行革審を設置し、市行政全般にわたり調査、審議し、その答申をもとに行政運営の向上を図ろうとするものであるというが、この行革審設置と行財政健全化計画との関連あるいは行財政計画の最終年度を半年残しながら条例提案した理由。実施時期。

答 行財政健全化計画との関連は、過去七年間、労使協調のも

とに努力してきたが、なお未実施項目もあり、その取扱い等も含め条例提案した。実施時期は、可決されれば、内部協議を重ね、十月から発足したい。

問 行政改革でスリムな行政組織をつくり、余った財源で市民福祉向上を図ることに反対はしないが、行財政健全化計画については、過去労使協議による自主再建で取り組んだ経緯があり、この際「有識者等からなる行財政改革推進委員会は設置しない」との確認事項があるが、これらの問題について環境整備を行っただうえで、行革審を設置すべきではないか。これについて職員組合と協議はしたのか。

答 確認事項については、当時の行財政健全化計画を実施するための確認事項との認識から今回の行革審とは別である。九月二日に協議の申し入れを行ったが、協議はしていない。

問 行政改革を推進するには組合との協議が不可欠である。協議が整わない段階での条例提案は新たな労使紛争の種になる。

答 議案の撤回は考えていない。

一般質問

一般質問は九月十六日から十八日までの三日間、市が当面する諸問題について、二十一名の議員が市当局の見解をただしました。

山本 一成・菅 正雄
井田 逸朗・菅 元生
富田 公人・清成 宣明
梶原九州男・小林健一郎
岡本 義美・河野 数則
岩男 三男・原 克実
宮本 博英・児玉 浩至
内田 有彦・加藤 義則
泉 武弘・本田 行男
白石 昇・井上 信幸
朝倉 齊 (議席順)

スポーツ振興と

交通体系の整備

問 別府市のスポーツの現状をふまえた時、市内36競技団体と体協に対しスポーツ振興の立場から、市当局は、強化費の増大と各施設の整備拡充をはかってもらいたい。又、軟式球場の駐車場移転は、スポーツ関係者等とのコンセンサスをとり内部検

討を十分行うよう強く要望いたします。又、別大国道の渋滞を解決すべく別府・狭間町とのバイパスの早期着工に向けて市をあげて県に陳情すべきだ。

市民参加の

老人保健福祉計画を

問一 老人保健福祉計画策定にあたっては、住民ニーズにこたえた計画書にするため当事者(介護者)を含めた市民参加によるものであること。また公開の原則を貫くよう要請した。

問二 労使間協議で出来た行財政健全化計画の最終年度にあたり、その実行の経過の総括を労使の間で充分行い今後の行財政の健全化に生かすよう強く求めた。

楠港埋立地

暫定的利用方法は

問 楠港埋立地が多額の費用をかけて完成した。当初計画がブル等により現時点で実現不可能であれば、暫定的利用措置を

方針として打ち出すべきであり放置、野ざらし状態は市民感情から好ましくない。当面遊園地にでもしてはどうか。

答 当初計画は是非実現したいが経済動向を見て、遊園地を含めて暫定的利用方法も検討し、有効利用をはかりたい。

別府市の財政状況について

問 大分県下58市町村の中で別府市の財政状況のめやすとなる経常収支比率はトップから何番目に位置するのか。

答 中村市長が就任した62年から58市町村のなかでトップから41番目でした。そして平成2年度決算では大分県58市町村のなかで最下位です。

高齢者へ一日二回の食事配達を

問 老人ホームへ行かずに、自宅で老後を送りたいと不安に思っている高齢者が多くいます。福祉給食事業実施に伴う市の負担は少なくて良い事は、福岡の春日市の例でもわかっています。是非実施して下さい。又、介護手当を年二万〇四〇万円支給している所があります。別府市ではどうか。同和教育に団体介入を許さず、自主的対応を。

答 高齢者対策は老人保健福祉計画の中で取組をいたします。

公園整備事業について

問 さきの議会で、今までの箱庭庭園から西洋的な公園、すなわち公園のどこに立っても向こうが透視できるような公園思想へ転換したい旨の当局の意向であったが、樹木にも生命はあり、安易に木を伐採すべきではない。又、さまざまな形の公園があってもいいし、四季の変化を味わえることが日本の風情である。答 樹木が密集した所では間伐、剪定等をする必要がある。



別府公園 花のエリア風景

保育所の抜本的

見直しについて

問 保育所のあり方については児童の充足率、地域性、保育料と父母の問題、公立私立の格差などを考えると抜本的に見直す必要があると考えるが。

答 ご指摘の通り現在公立保育所は、市内に十一ヶ所あり児童の充足率は七〇％程度で低い所では五〇％という保育所もある又、園舎も古くなっており、施設整備及び適正配置等を行いたい。

環境問題駅前周辺

整備対策で問う

問一「廃棄物対策」ゴミ処理は従来の発想をかえ、国のリサイクル法に沿った市独自の再資源化システムを作るべきだ。

答 廃棄物減量化のため市の実情に合った減量目標の設定や有効利用計画を早急に策定する。

問二「駅前シンボルロード整備事業」の状況と周辺の通り会・商店街対策はどうか。

答 事業は平成六年度中に完成する。周辺対策は来年度から市

街地総合再生事業に沿って実施して行く。

休日夜間保育を実施せよ

問一 学校の月一回週五日制が開始された。市教委、推進委員会、学校の準備状況は。

答 PTA、公共施設、ボランティアの皆さんに大変お世話になった。それぞれの地域、年齢に合った取組みをしていた。今後も主旨に合うよう万全を期したい。

問二 休日夜間保育を実施せよ。女性の就労増等により希望者はかなりある。実施にむけ実態を十分調査し検討したい。

名石名水の保護

油屋熊八翁像 他

問一 名石、巨石、名水の保護並びに油屋熊八翁の像を別府駅前に。答 観光コースに組み入れたい。油屋熊八翁の像建立は顕彰会等と協議したい。

問二 ゲートボール場に休憩所を。答 平成五年度県にゲートボール休憩小屋の要望をしたい。

問三 大谷公園（二段三段のフラット化）の整備について。

答 最下段擁壁の高さが約4・7mとなり隣接の日陰や眺望等検討課題がある。

ごみ問題と資源リサイクル

問 ごみ収集作業の体験を通し、ごみ問題は資源問題であると実感した。今、資源リサイクルの世論が高まっているが、リサイクル先進都市を参考に行政と地域住民が一体となりシステム作りをすべきである。又幼稚園児から中学生までの教育にごみ問題を取り入れ、ものの生命を大切にする教育を行って欲しい。

答 前向きな提言をいただき、すべて実現するよう努力したい。



移転が決まった鉄輪消防署

行財政健全化計画の総括を質す

問 今から七年前、別府市は財政的に緊迫した状況つまり赤字再建準用団体への危機にあった。そのため市当局と職員組合とが理解をしい行政健全化七カ年計画を策定した以上、市当局と組合側が力を合わせ今後の方針を含めキチンとした総括を提起すべきである。

答 行政当局が提起した総括は行政側の中間総括であり、最終的には組合と十分協議して提起する。

鉄輪消防署移転と

地区体育館建設

問一 鉄輪及び扇山消防署は交差点に近く、出勤に問題がある。統合庁舎の建設を議会に取り上げて来たが、場所及び建設時期は。

答 朝日中学の正門鉄輪寄りでやまなみハイウェイから宮園団地入口に決定した。建設は平成五年度を予定している。

問二 朝日・大平山地区に体育館を早急に建設せよ。

答 来年度予算要求し、建設に向け努力する。

自衛隊海外派兵・

金権政治許すな

問 自衛隊の海外派兵を強行したが憲法違反でありPKO法でも許されないのが「カンボジア」への派兵だ。中止を求める市民の声に答えよ。五億円ものウラ金を受取り総選挙に使った自民党は反省もない。金権腐敗政治の一掃は企業団体献金を禁止することだ。市長は自らの政治資金でこの立場をとるよう求める。

答 国政で法制化された以上、その精神を遵守してまいりたい。

観光行政について

問 別府市が、観光浮揚対策として受け入れた全国タウン誌別府大会、このタウン誌大会も三ヶ年計画で、来年最終年を迎える。この大会を是非継続させて別府観光の良さを全国の皆さん方に理解頂くため継続を求む。

答 別府観光の実態を考えた場合、出来る事なら継続していきたい。これからの別府観光の浮揚対策を含め、大会総括を参考に継続の方向で考えたい。

地域防災計画書と防災マップ

問 別府市の地域防災計画書は十四年間、見直し修正をしていない。災害対策基本法を無視している。また、防災マップの作成について提案をしているが今後どの様に取り組むのか。

答 防災計画書については、平成五年度には、種々検討を重ね作成をする。又、防災マップ・防災ハンドブック等についても同様。市民の防災意識の高揚のため、検討して早急に作成する。

別府市温泉総合

整備事業について

問 温泉利用計画調査報告書により実施設計委託料第一期分二、九五〇万円を計上しており、これの事業費として約二五億円を投入しようとしているが、この種の計画は、昭和52年度に詳細な温泉利用全体計画書がすでに作成され市で保有しておりこれを活用すれば費用も安く上がる。温泉資源の開発の基本は十年が経過しようが同じであり、先端技術の一部変更で充分に足りる。予算計上は取下げ再検討せよ。

競輪場の周辺対策について

問 競輪場の周辺対策、特に不法駐車問題はどのように考えているか。

答 人命の安全第一を基本に対策を行っており、不法駐車の一掃、歩道帯の確保を目指したい。又、終了時の交通渋滞の時の安全確保に全力をつくしたい。

コンベンションの

誘客ターゲットは

問 今や全国総コンベンションセンター時代を迎える中で、本市のコンベンションセンターの誘客ターゲットはどこに置いているのか。

答 誘客宣伝のためコンベンションビュローの設立を急いでいるが、具体的な誘客目標としては国内の全国規模の大会・会議などに的を絞りたい。



コンベンション
センター工事現場

大型温泉事業は

基礎調査を十分に

問 二五億をかける大型温泉事業実施に当たっては市民と温泉との関わりを徹底的に分析することが必要。特に民間給湯・浴場業者の意向調査が必要。その他事業設計や事業実施に当たり業者選定については、慎重に対処することを強く要望する。

答 別府温泉を総合的に見直し再構築するとともに内外にアピールするための温泉事業。温もりと出会える温泉の町づくりの観点で慎重に検討しながら推進したい。

温泉総合整備事業について

問 温泉総合整備事業のこれからの方向性と、近代化の遅れた共同温泉について。

答 温泉管理システムの構築により、温泉の量と温度の安定した供給体制を整え、今後予定される温泉施設の需要に供す共同温泉入浴者及び関係者が協議を重ね、将来整理統合を図りたい旨のコンセンサスが得られれば行政指導も考慮される。

九州市議会議員 野球大会 準優勝

第28回九州市議会議員野球大会が鹿児島市鴨池市民球場他三球場で七月二十九日から三十日までの二日間にわたり、開催されました。

別府市も井上監督他21名の選手が参加しました。

一回戦不戦勝の後二回戦平戸市を12対3、三回戦で熊本市を10対3、準決勝で行橋市を7対0で破り決勝戦では津久見市との大分県勢同士の決勝戦となり、白熱した試合展開の末、惜しくも5対1で破れましたが、久々に今大会で好成績を残すことができました。

その他の試合結果

第45回大分県民体育大会議員ソフトボール（九月二十日）
一回戦 別府11 — 2 北海道郡
二回戦 別府12 — 13 玖珠郡



九州市議会議員野球大会入場風景

傍聴席

さる、九月十八日社会教育課婦人問題研究講座の受講生十一名が傍聴に訪れ、その感想文が編集委員会へよせられました。

『市議会を傍聴したのは2回目です。日頃から別府市の運営がどのように行われているのかを知りたいと思っていたので期待して傍聴しました。私に関心を持ったのは、観光行政やコンベンションセンターの建設、福祉行政などです。これらについて活発な論戦が展開され、大変勉強になりました。』

議会用語三辞典

意見書と決議

意見書とは、地方自治法第十九条第二項に基づき、地方公共団体（別府市）の公益に関することについて、議会としての意思を意見としてまとめ、関係する行政庁へ提出する文書のことと言います。

決議とは、議会が地方公共団体の公益に関することについて、意思を表明することと言います。別府市議会では、過去「暴力絶滅に関する決議」や「松原町大火被災者に関する決議」などがあります。



一般質問に聞き入る傍聴者

お願い

お金のかからない政治や選挙のために、公職選挙法では次のように定めています。市民の皆様のご理解をお願いいたします。

◎政治家が、各種会合への祝儀など、寄付をするところ罰されます。

◎政治家が、年賀状や暑中見舞いなどのあいさつ状を出すことや、お中元などの贈答をすることは禁じられています。

◎後援会が、花輪、香典、祝儀などを出すところ罰されます。

傍聴のご案内

- ◆ 本会議はどなたでも傍聴できます。
- ◆ お気軽に議会棟4階へお越しください。
- ◆ 次の定例会は12月初旬に予定しております。